BOOKS
ブック・レビュー

原作／パク・ヨンドク、文・絵／クレマインド、訳／藤本　匠

「神なんていないと言う前に」

――無神論者に贈る　神の話

評者・千葉　明徳（FFJ 代表）

本書はカラー漫画で、複雑な内容をわかりやすく概説します。最初に「無神論も一つの信仰です」と言い切っていることにハッとさせられました。それから、仏教、儒教、キリスト教、ヒンドゥー教、イスラム教の五大宗教の神概念を簡単に説明します。

無神論では、すべてが偶然にできたという前提に立ちます。すると宇宙の天体を始め、自然界のすべての成立過程を説明することが困難になります。具体例として潜水艦を取り上げ、大体こんな具合で話が進みます。

海には鉄分（Fe）が含まれていた。…だから海底にしずみはじめたんだ。どんどんしずんで、鉄同士でくっつきはじめたんだ。どんどんくっついて、いつしか大きな鉄板になったんだよ。それで、海中の色々な現象によって、鉄板のあちこちに穴が開きはじめて…進化のような作用によって、ネジがはまりはじめたんだ。

それから、これはちょっと現代科学でも説明できない現象なんだけど…潜水艦の中に急にエンジンができたんだよ、それが！」…

正常な思考ができる人なら、潜水艦が偶然にできたなんて話は、信じられないでしょう…潜水艦より数千倍、…複雑な構造を持っている生命体の人間が、偶然にできるかなあ？　誰も、自信をもって「神はいない」と言うことは難しいでしょう。（本文14ー17頁より一部抜粋）

キリスト教については、創世記の初めの記述から天地創造を語ります。

旧約から新約に移る過程もわかりやすく表現されています。

韓国人の著者パク・ヨンドク氏は、お酒とポーカーに明け暮れた大学時代、韓国基督学生会（IVF）を通してキリストを信じて変えられました。

大学では新聞放送学を専攻し、大学院で行政学を勉強する傍ら、韓国外国語大学と慶熙大学で学生伝道に携わりました。軍隊を除隊後、大邱地区にIVFを開拓。多くの大学生に伝道し、現在ソウル市内の「主の恵み教会」牧師として活躍中とのことです。

学生伝道をされた著者だけに、論理も明快です。全5章ですが、特に第2章では「キリスト教を遠ざける16の理由」で、多くの人々が持つ疑問に丁寧に答えます。

例えば、「神様がいるなら、なぜ悪い人を放っておくのか」「すべての宗教は結局同じだ」「人間が弱さのゆえに神を作り出した」「神の存在は信じるが、なぜキリスト教の神でなければならないのか」など、一般の人々が興味を持つ主題にやさしく解説します。特に十字架とキリストの復活の重要性と確かさがくり返し強調され、最後にどのようにしてキリストを主として信じるかを簡潔に紹介します。

ご自分の「祈りを聞いて下さる神」に焦点を合わせてお読みください。きっと励まされます。信仰のない人に差し上げても、きっと読んでもらえるでしょう。若い方たちにぜひとも手にしてほしい一冊です。

A5判
いのちのことば社刊
224ページ、1,600円＋税
FFJでは取り扱っておりません。
キリスト教書店、アマゾン、発行元などにご注文ください。

ファミリー・フォーラム・ジャパンの活動を支援しています

会社の経営全般に係る専門的総合サービスを提供しています!

長岡淳三
税理士事務所

〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜1-1-8
ライオンズプラザ新横浜605号
TEL.045-472-6810
FAX.045-472-6868

E-mail　j-nagaoka@mx1.tten.ne.jp